



見る  
聞く  
さがす  
夢がある

日立市民の  
生涯学習

# 百年塾ひろば

第 144 号 発行日/2021.7.20  
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部  
編集/広報チーム



①  
②  
十王町黒坂の<sup>たつわれさん</sup>豎破山の山頂付近には、太刀で二つに割ったような巨大な石があります。

P 2

■日立の活性化のパワーに

Hi タッチらんど・ハレニコ！

日立シビックセンター科学館

■「世界おもしろ発見クラブ」スタート

P 3

■常陸国風土記の世界を

訪ねてみよう⑦

～黒前の山(豎破山)～

■「サステナブル&SDGs」とは

P 4

■社会のニーズに合わせた

コラボ企画が好評

■よろしく市民教授です！

せみしぐれ  
【蟬時雨】

## 7・8月歳時記

③  
④  
夏になるとひときわ賑やかに聞こえてくるのが蟬の声です。地中で長い年月を過ごした蟬が、やっと地上に出て存在感を示すかのように一斉に鳴きたてる様を「蟬時雨」と言い、夏の季語です。他の蟬より一足早く梅雨明けの頃に現れるのはニイニイゼミ。次いでヒグラシ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシなどが出てきます。

※時雨とは、ひとしきり降ったかと思うと、止んだりする雨のことです。



## 【二百十日】9月歳時記

立春から数えて210日目の日で、9月1日頃にあたります。台風の襲来も多いことから、稲の開花期である農家にとってはこの日を厄日として警戒してきました。現代のように台風の予測ができなかった時代には、農家だけではなく漁業やあらゆる所で被害を及ぼすことから、人々はこの日を恐れて戒めとしてきました。また立春から220日の「二百二十日」も同様です。





# まちの活性化にパワーを

まちの活性化が、コロナ禍の影響なども相俟って停滞や縮小などを余儀なくされることも多い中、にぎわいを呼び寄せている2つの施設を体験しました。

## 夢と冒険のひろば

Hiタッチらんど・ハレニコ！

① イトーヨーカドー日立店の4階フロアに広がる「Hi タッチらんど・ハレニコ！」は、全天候対応型の子どもの遊び場です。

令和元年10月にオープンしたこの施設は、0歳から12歳までの子どもたちと保護者の人たちが、さまざまな遊具を使って遊ぶことができます。

② あそびとまなびのエリアは5つに分かれ、ダイナミックな動きを楽しめる『アクティブゾーン』、組み立てやごっこ遊びを通して感受



楽しさ全開！

性や創造力を育む『ロールプレイゾーン』、乳幼児専用エリアの『ベビーズゾーン』、三輪車を使っている『サーキットゾーン』、ボールを使った遊びができる『ボールコート』で、年齢に応じた遊びができます。

1日4回90分の総入れ替え制

## 文化の違いって面白い！ ～世界おもしろ発見クラブ～

「海外に友だちを作り、外国のおもしろ情報を探そう」との呼びかけで、百年塾の国際理解プロジェクトの『世界おもしろ発見クラブ』が4月18日(土)、日立市教育プラザを会場にスタートしました。参加者は市内の4年生から6年生8名です。

③ 毎回ゲストの方から海外での体験談などを話してもらい、6月5日(土)の第3回活動では長く海外

で、子ども1回100円、大人(同伴者)200円です。コロナ禍が続く状況の中、来場者の利用の仕方の周知や入れ替えの前後にはスタッフ総出の消毒など、徹底した感染予防対策がとられ、安心して利用することができます。天候に左右されずに遊ぶことも人気で、今年3月12日には、オープンから1年5か月で来場者10万人を達成しました。

歓声を上げて遊び跳ね回る子どもたちを、笑顔で見守る大人たちの楽しげな様子に、ハレニコが子育て世代や祖父母世代など保護者の人たちにとっても、寛げる楽しい場所であることが窺えます。

来年1月にはイトーヨーカドー閉店という寂しいニュースも聞かれますが、子どもたちの健全育成のためにも、この賑わいをさらに広げていきたいものです。

## 科学の楽しさ不思議さ満載 シビックセンター科学館

日立シビックセンター科学館が今春、リニューアルオープンしました。平成2年の開館から30年を経ての大規模な改修となった科学館は、「サクリエ」の愛称で、子どもから大人まで科学を身近なもの

に駐在した2名のゲストを迎え、世界地図を確認しながら国によって違う握手の仕方などをはじめ、日本と外国との習慣の違いを学びました。

子どもたちは熱心に耳を傾け、



世界って面白い！

のとして楽しむことができます。

なかでも8・9階の展示フロアには、高さ約7メートル、幅約20メートル、奥行き約5メートルの



ためしてハニカムは大人気

日本最大級大型科学体験ジャングルジム「ためしてハニカム」があります。その名の通り巨大な蜜蜂の巣のような空間の中で、身体を使っていろいろな実験ができます。広々としたフロアの中は、さまざまなコーナーがあり、子どもたちが目を輝かせて科学のおもしろさを体験しています。

日立が誇るプラネタリウムで美しい星空を満喫したり、日立の街並みや神峰山、太平洋が一望できる屋上で心を開放することで貴重なひとときを得られます。

科学の盛んなまちとして、さらに発展できることを願い、何よりもまず科学館に足を運んでみませんか。



遊べる光のデジタルアート

ノートにはメモがぎっしりと書かれていました。

## 海外おもしろ発見展

7月27日(火)～8月15日(日)

場所／南部図書館ギャラリー

日立市の国際姉妹都市と日立の子どもたちが、写真交換を通して見つけた学校生活や文化の違いをパネルなどで展示します。

## 常陸国風土記の世界を訪ねてみよう ⑦

### 黒前の山（豎破山）

奈良時代初頭、全国各地で風土記編纂が行われた中で、茨城県をまとめた「常陸国風土記」。シリーズの第7回目は、十王町黒坂の豎破山を紹介しします。

#### 黒前の山の名の起こり

常陸国風土記逸文では黒前の山について、次のような記載があります。※逸文(散逸して伝わらない、また一部しか残存しない文章)

「黒坂 命が東北地方の先住民の蝦夷を征討して凱旋する途中、多珂郡の角枯と呼ぶ山にさしかかり、病に倒れ亡くなった。そこで角枯の名を改め黒前の山と名づけた」と。

ここでいう黒前の山は十王黒坂



の豎破山のことで。初め「角枯の山」と称し、のち黒坂命の伝説にちなんで「黒前の山」となり、いつの頃からか「豎破山」と呼ばれるようになりました。

黒坂命は、土に穴を掘って住む凶暴な先住民を鎮めるため茨で彼らの住む穴をふさいで滅ぼし、これが茨城県の名前の由来とも言われています。(諸説あります)

#### 豎破山

豎破山は標高 658m の日立市の最高峰で、多くの巨石があります。特に山頂付近にある真つ二つに割れた直径 7m の巨石は「太刀割石」と呼ばれ、「たちわれ」が訛って「たつわれ」になり、これが豎破山の名前に繋がったといわれています。

この巨石は「將軍石」「勝軍石」とも称され、これは征夷大將軍坂上田村麻呂の蝦夷征討勝利祈願の伝説にちなむものです。こうしたことから黒前の山が古くから山岳信仰の山であり、蝦夷征伐に関

係の深い信仰の山であったことがわかります。そして太刀で切り割ったとしか思えないこの巨石から、八幡太郎義家が夢で黒坂命に授けられた大太刀でこの石を割ったという伝説が生まれました。

山中には黒坂命を祀った黒前神社があり、以前は神社から伊師浜までの往復 20km を五泊六日かけて神輿を運ぶ磯出祭礼が行われていました。

豎破山は信仰と伝説の山にとどまるだけではありません。ブナの原生林や可憐な花をつける木イチゴなどの植物も群生し野鳥がさえずる自然の宝庫でもあります。

自然豊かな豎破山をぜひ訪ねてみてください。太古の空気と神秘の世界に触れてみることもできるかもしれません。

※参考：日立郷土博物館発行  
「常陸国風土記にみる日立」



黒前神社には今も参拝者が訪れる

## サステナブル&SDGs とは

最近、さまざまなメディアでよく目にする『サステナブル』という言葉は、「持続可能な」「ずっと続けていける」という意味があります。

現在、世界の人たちが取り組み始めているのが「サステナブルな社会」の実現です。

この実現に向け、2015 年の国連サミットにおいて、国際社会共通の目標として、採択されたのが、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) です。

SDGs (エス・ディー・ジーズ) は、「貧困をなくそう」、「質の高い教育をみんなに」、「住み続けら

れるまちづくりを」、「海の豊かさを守ろう」など 17 個の目標があり、2030 年までに持続可能な社会の実現を目指しています。

日本でも政府はもちろん、多くの企業で SDGs を活用した取り組みが活発に行われています。さらに、家庭、地域などあらゆる



持続可能な開発目標

場で SDGs に関する活動は広がっており、学校教育においては、持続可能な社会づく

りの担い手を育てるため、「持続可能な開発のための教育 (ESD)」も推進されています。※ESD: Education for Sustainable Development

私たち一人ひとりも、持続可能な社会をつくるために何ができるのか考え、実行することが今後ますます重要になると考えられています。

(参考：外務省「SDGs とは?」、内閣府 SDGs 推進本部「SDGs アクションプラン 2021」、日立市教育委員会「令和 3 年度日立の学校教育」)



## 社会のニーズに合わせたコラボ企画が好評

### 百年塾「生き生きワクワク講座」

「ママ達の心と体を癒す“ヨガ&薬膳”」の講座が、5月28日(金)・6月25日(金)の2回にわたり Hi タッチらんどハレニコの子育てサポートエリアで開かれました。

この講座は、市民教授でヨガの宮田真歩さんと、薬膳の宮澤孝子さんによるコラボ(共同)企画で、分野の異なるものを組み合わせて行

うという、生き生きワクワク講座の新たな試みです。

参加した人たちは、「今の時期に合った講座」「組み合わせが新鮮でお得感いっぱい」「リラックスできた」など大好評でした。

コロナ禍の中で、参加人数等の調整や講座の進め方など、主催する側の苦労は多々ありますが、社会

会の状況を見ながらニーズに合わせ、参加する側・主催する側双方が満足感を得



身体がほぐれて気持ちいい!



季節に合った料理を学ぶ

られるような企画はもとより、いろいろな人や所などとの連携が、いま必要とされているようです。

### 市民教授登録

2021.3月~6月に登録の方(敬称略)

- 弓野典子/大沼町  
(笑い文字「ありがとうを贈ろう」)
- 六車正道/西成沢町  
(本を作ろう)
- 団体市民教授・ジオネット日立  
(自然解説[地形地質等])

講座や市民教授をお探しの方  
百年塾ホームページを開き  
トップページの  
「市民教授ナビ」をクリック  
してください。

## ② よろしく 市民教授・まち案内人です!

百年塾には、あらゆるジャンルに約220名の市民教授が登録しています(6月末現在)。

### 森の案内人として

むらた まこと  
村田 誠さん(山歩きと自然観察)



仲間と一緒に山を歩き、自然や歴史を学び教え合う事が楽しいという村田さん。子どもの頃から父親に連れられて山歩きを楽しみ、茨城県の

山はほとんど登ったそうです。以前は富士山や奥多摩のトレイルランニング等にも参加して完走しています。※トレイルランニングは森や山中など自然の中の未舗装の道を走るスポーツ。

市民教授登録のきっかけは、山歩きの安全知識と樹木、野草や野鳥等の自然観察の楽しみをより多くの皆さんに知ってもらいたいとの思いからです。退職後に森林インストラクターの資格を取り、最近まで仲間と一緒に「日立アルプス市民ハイキング」というイベントも開催していました。仲間には卒寿を超えて山歩きを楽しんでいる方もおられるとの事でご自身も頑張りたいとのこと。これからは初めて森林歩きを体験される方を中心に、山歩きの楽しさを伝えていきたいと抱負を語ってくれました。

### 日本最初の健康体操

ふにゆうす みこ  
舟生寿美子さん(自彊術)



テニス仲間誘われて始めた「自彊術」体操は、疲労回復が早く、姿勢も良くなったと話す舟生須美子さん。

平成14年に入会し19年目になる現在は、

6教室を受け持って月に23回開催するなど、指導者として活動しています。また、体操指導をしながら、さらに上位の指導資格取得を目指して頑張っています。

「自彊術」体操は、独得の呼吸法・全身性・系統性・極限性という特徴があり、31の動作があるそうです。皮肉を動かし、筋骨をゆるがし、関節を開くという動かし方は、単なる健康体操ではなく万病克服の運動療法としても知られているそうです。自彊術が療法から考案されたことから、ルーツを知る為にペアを組んで、療法の勉強もしていると話します。

機械器具を用いず、たたみ一畳の空間があればどこでもできる体操です。皆さんも健康のために百年塾「生き生きワクワク講座」で体験してみたいか

### ■百年塾サロン(窓口)では 以下の業務を行っています

- 百年塾推進委員登録の受付
- 市民教授の登録、紹介
- 講座・講演の受付
- 生涯学習に関する相談

### ■ひたち生き生き百年塾推進本部

百年塾サロン(日立市教育プラザ1F) 〒317-0064 日立市神峰町 1-6-11  
☎0294(23)9165 FAX 24-5200

E-mail [iki100j@net1.jway.ne.jp](mailto:iki100j@net1.jway.ne.jp)

ホームページ <http://www.net1.jway.ne.jp/iki100j/>

【事務局】日立市教育委員会 生涯学習課

〒317-8601 日立市助川町 1-1-1 ☎050-5528-5126

